

糖尿病看護特定認定看護師

糖尿病

40歳以上の4人に1人と急増している糖尿病。初期の段階では自覚症状は全くないことが多く、症状が生じてもごく軽いと言われます。しかし、治療せずに放置すると様々な合併症のリスクがあります。

院内での活動

- * 2018年に特定行為研修を終了しています。
 - ・ 医師が特定した患者様に対して医師の指示を待たずに、医師が不在でも必要時は特定行為の実践ができます。タイムリーな実践により「治療」と「生活」の両面から患者様を支えます。
 - ・ 終了した特定行為区分：栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 血糖コントロールに係る薬剤投与関連（インスリン投与量の調整）
- * 糖尿病患者様の糖尿病療養指導・相談、他職種との連携看護師への指導等を行なっています。
 - フットケア、注射、療養生活などでお困りの方は「糖尿病療養支援外来」のご予約ができます。
 - 予約制：月・木（午後14：00～16：00）
 - 担当者：糖尿病看護特定認定看護師 内藤 裕美



どんな相談にのってもらえますか？
糖尿病看護認定看護師の役割3本柱とは

* 血糖パターンマネジメント技術

血糖値はインスリン注射や食事・運動といった一つの事象によって決まるわけではなく、心理状態、季節、地域特性、職業など様々な影響があります。血糖管理に向けての支援を行なっていきます。

* フットケア技術

糖尿病のフットケアは、単に足をケアするだけではありません。糖尿病ともに生活している人が大切な足を自分自身でケアができるように支援していきます。

* 糖尿病ケアシステム立案技術

施設や地域において必要な糖尿病ケアシステムを構築し、その人らしく療養生活が過ごせるように支援していきます。



慢性心不全看護認定看護師からの 知って得する情報

心不全ってどんな病気？

なんらかの心臓機能障害、すなわち、心臓に器質のおよび/あるいは機能的異常が生じて心ポンプ機能の代償機能が破綻した結果、呼吸困難・倦怠感や浮腫が出現し、それに伴い運動耐容能が低下する臨床症候群。

わかりやすく
言い換えると

心不全とは、心臓が悪い
ために、息切れやむくみ
が起こり、だんだん悪く
なり、生命を縮める病気
です。

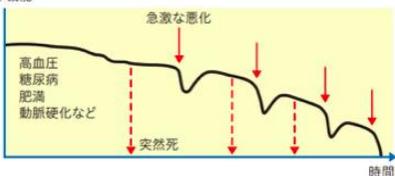


心不全進展ステージ

リスク因子	無症候性	軽症	中等症	重症
ステージA	ステージB	ステージC		ステージD

身体機能がだんだん
低下

身体機能



生命を縮める

心不全って、どんな症状？

心不全の
症状

・患者さんの言葉

呼吸困難
息切れ

・年をとると坂道がしんどいわ

浮腫

・足が腫れているけど前からよ

体重増加・
体液貯留

・食べすぎて体重が増えた

うっ血・
倦怠感

・咳が出るし風邪をひいた

腸管浮腫

・便秘だからご飯も欲しくない

低還流

・手足が冷たいのは冷え性

このように、心不全は心臓の病気ですが、症状は全身に見られます。また、休息をとることで症状が改善したり、安静にしていることで、症状がなくなったり、心不全の症状だと気づけないことがあります。

心不全は、治療し症状が良くなっても、完全に治ったわけではありません。再び、悪化させないように生活習慣に気をつけて、心不全とうまく付き合っていくことが大切です。

*何かご心配なことがあればご相談ください。

慢性心不全看護認定看護師：鈴木麻美